

【令和2年7月基本指針】

○ 令和2/3年の主食用米等の需給見通し

(単位:万トン)

令和2年6月末民間在庫量	A	201
令和2年産主食用米等生産量	B	709~717
令和2/3年主食用米等供給量計	C=A+B	910~918
令和2/3年主食用米等需要量	D	715
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	196~204

【令和2年10月基本指針】(今回の変更)

○ 令和2/3年の主食用米等の需給見通し(速報値)

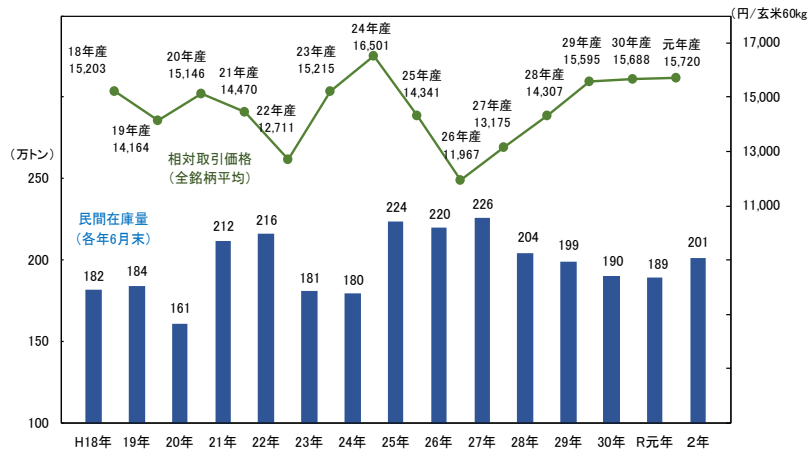
(単位:万トン)

令和2年6月末民間在庫量	A	201
令和2年産主食用米等生産量	B	735
令和2/3年主食用米等供給量計	C=A+B	936
令和2/3年主食用米等需要量	D	709~715
令和3年6月末民間在庫量	E=C-D	221~227

注1: 令和2年産主食用米等生産量は、9月15日現在の予想収穫量であり、今後、変動する可能性がある。

注2: 令和2/3年主食用米等需要量は、新型コロナウイルス感染症の状況や価格動向等によって、今後、変動する可能性がある。

<参考> 相対取引価格と民間在庫量の推移



注: 相対取引価格は、当該年産の出回りから翌年10月(元年産は令和2年8月)までの通年平均価格であり、運賃、包装代、消費税相当額が含まれている。

○ 令和3/4年の主食用米等の需給見通し(速報値)

(単位:万トン)

令和3年6月末民間在庫量	E	221~227	221~227
令和3年産主食用米等生産量	F	679	692
令和3/4年主食用米等供給量計	G=E+F	900~906	914~919
令和3/4年主食用米等需要量	H	704	704
令和4年6月末民間在庫量	I=G-H	196~201	209~215

過去最大の作付削減面積と同規模の面積を削減した場合の参考値

米の基本指針（案）のポイント（考え方）

<令和2/3年主食用米等需要量> = 709～715万トン（右上表のD）

- 令和2/3年の主食用米等需要量の見通しは、平成30年11月基本指針以降に採用している手法（1人当たり消費量（推計値）に人口（推計値）を乗じる手法）により算出すると、「**715万トン**」。
- 令和2/3年において、**新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量を推計**すると、「**5.2万トン**」。（詳細は下記参照）
- これらを踏まえた令和2/3年の主食用米等需要量は、715(714.6)万トン－5.2万トン＝「**709万トン**」となる**可能性がある**ことから、見通しとしては「**709万トン～715万トン**」の幅を**もって設定**。

<特別な要因による需要減少量(令和2年7月～令和3年6月)の推計方法:緊急事態宣言解除後の3か月間(令和2年6月～8月)の減少量から推計>

- 米の販売動向調査の対象者（年間取扱量256万ト）における6月～8月の販売数量の減少量:2.4万ト
- 市場流通（農産物検査数量427万ト）における6月～8月の減少量:4.1万ト＝2.4万ト×427万ト/256万ト
- 6月～8月の需要減少が1年継続すると仮定した場合の市場流通における需要減少量:16.3万ト＝4.1万ト×12/3 --- (①)
- 市場流通におけるトレンドによる需要減少量:5.9万ト＝10万ト×427万ト/726万ト --- (②)

【概念図】



- **新型コロナウイルス感染症の影響等の特別な要因による需要減少量:5.2万ト**＝(①－②)×1/2

注1: 1/2を乗じたのは、令和2/3年後半の需要回復を想定したことによる。

注2: 農家消費等は、農家の自家消費や無償譲渡（縁故米）等であるため、トレンドによる需要減少のみ発生すると仮定。

調査対象者: 年間取扱数量5万ト以上の卸売業者29社
 (合計取扱数量256万ト)
 市場流通 : 平成30年産の農産物検査の数量(427万ト)

<令和3年産主食用米等生産量(見通し)> = 679万トン（右下表のF）

- 令和3/4年主食用米等需要量(右下表H)は、平成30年11月の基本指針以降に採用している手法により算出すると、「**704万トン**」と見通される。
- 一方、令和3年産主食用米等生産量(同F)については、需給緩和傾向を早期に抑えるために、**令和4年6月末民間在庫量(同I)の水準を、令和2年6月末民間在庫量201万ト(同A)を超えないように設定**するとすれば、「**679万トン**」となる。

(参考) 6月末民間在庫量の推移

(単位: 万トン)

	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年
民間在庫	213	175	182	184	161	212	216	181	180	224	220	226	204	199	190	189	201

(注) 令和2年6月末の数値は速報値。

<過去最大の作付削減面積と同規模の面積を削減した場合の参考値> = 692万トン

- 過去に、主食用米等の作付面積を前年より**最も多く削減した**のは平成27年産で、**6.8万ha減**。これと同規模の面積を令和3年産主食用米等で削減した場合、「**692万トン**」(729万ト(令和2年産の平年生産量)－36万ト(10a当たり収量は令和2年産水稻の全国平年収量(535kg)を使用して試算))。